

第103回全国高等学校野球選手権愛媛県大会 教育長祝辞

令和3年7月10日（土）
坊っちゃんスタジアム

本日、57校56チームの参加の下、第103回全国高等学校野球選手権愛媛大会が、このように立派に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、甲子園大会及び地方大会が中止となりました。全国の高校球児はもとより、皆さんを支えてくれた関係者やご家族の方々も、行き場のない悔しさや喪失感を沢山経験してきたことと思います。

あれから1年、私たちは今もコロナウイルスと闘い続けており、野球を続けるために必要な規制や制約もお願いしてきました。

しかし、そのような苦しい状況にあっても、決してくじけることなく、目標を見失わず、チームメイトや監督さんたちと練習方法を工夫しながら鍛錬を積み重ね、今日のこの時を迎えたのであります。

本当によく頑張りました。これまでの皆さんの努力と精神力に、心から敬意を表したいと思います。

いよいよ本日から、夢の舞台である甲子園へ向け、2年ぶりの熱い闘いが幕を開けます。ここにおられる高校球児の皆さんはもとより、多くの県民の皆さんが、この日を待ち望んできました。

この晴れ舞台に立てなかった昨年の先輩方や、スタンドでの応援が叶わなかった応援団や吹奏楽部のみんなの思いを胸に、ひたむきに白球を追いかけ、持てる力を存分に発揮し、一生の思い出となるような試合を、プレーを見せてくれますことを心から期待いたします。

スタンドにお集まりの皆様におかれましては、マスクの着用や間隔の確保など、感染防止対策への御協力、誠にありがとうございます。最後まで懸命にプレーする高校球児たちに、惜しみない拍手を賜りますようお願いいたします。

終わりに、本大会の開催に御尽力いただきました愛媛県高等学校野球連盟並びに朝日新聞社をはじめ、関係者の皆様方に深く感謝の意を表しますとともに、選手の皆さんの御健闘を心からお祈り申し上げまして、祝辞といたします。